

「尾張旭市立旭丘小学校出前授業」

水土里ネット愛知用水

平成29年11月6日(月)、尾張旭市立旭丘小学校の4年生児童3クラスを対象に出前授業を開催しました。当日は多面的機能支払交付金の活動組織である『濁池地域環境保全の会』が主催となり、水土里ネット愛知用水の職員が講師として出前授業を行いました。

『愛知用水ができるまで』の話の内容については、当時、天気により大きく左右された知多半島の人々の生活がどうだったのか、愛知用水建設にかけた久野さん濱島さんの話、そして王滝村や木曾町の人々の協力があって現在の愛知用水が完成したことをパワーポイントによる紙芝居形式で伝えました。

授業の後半では、水土里ネット愛知用水の副読本『愛知用水ブック』と、パワーポイントの両方を用いて、『水土里ネットとは何か』、『仕事内容や愛知用水施設の紹介』、『水源地域の森の大切さ』を伝えました。

授業の後に行ったクイズでは、ほとんどの児童が全問正解しており、授業にきちんと、また熱心に取り組んでくれた様子が見てとれました。

後日実施したアンケートでは、『愛知用水が御嶽山の近くの牧尾ダムから届いていることがわかった。』『これからは水を大切にしたいと思います。』『当時の人達の苦勞がよくわかった。』といった感想をいただき、愛知用水がもたらす水の大切さについて、理解を深めていただけたと感ずることが出来ました。



水野会長よりご挨拶



愛知用水ができるまでのお話



愛知用水の概要についてのお話



熱心にクイズを解く児童たち